

# JKA NEWS

2017  
新春号 47  
通巻 NO



公益社団法人 日本空手協会は品格ある青少年育成に努めております



# 年頭挨拶



## 日本空手協会会長

### 草原克豪（くさはら・かつひで）

1941年北海道生まれ。東京大学教養学部教養学科卒業後、文部省に入省。1997年から2009年まで拓殖大学副学長・兼拓殖大学北海道短期大学学長。拓殖大学では空手道部部长も務めた。2012年に（公社）日本空手協会理事、2015年10月に同会長に就任。



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれては健やかに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は空手が東京オリンピックの競技種目に採用されることが決まり、国民の関心も一挙に高まってまいりました。本年はアイルランドにおいて協会主催の世界選手権大会も開催されます。本年も皆様の暖かいご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

新しい年を迎えて、私どもは「会員あつての協会」という原点に立ち返り、本年を協会のさらなる発展の年にする決意を新たにしております。そして会員の皆様とのコミュニケーションをより密にし、みんなで協会の情報を共有できるようにするため、これまでしばらく休刊していた「JKA ニュース」を復活させることにいたしました。ご愛読くださるようお願いしております。

この機会に日本空手協会の目指す空手道について皆様と共に改めて確認してみたいと思います。

空手道は武道といわれます。では武道とはどういう意味でしょうか。日本武道協議会が定めた武道憲章によれば、武道とは「日本古来の尚武の精神に由来し、長い歴史と社会の変遷を経て、術から道に発展した伝統文化」であるとされています。

日本空手協会の空手道は、20世紀初頭に船越義珍先生がはじめて沖縄唐手を本土に伝え、日本古来の武道の一環として発展・普及させてきたものです。したがって、その目的は、同じく武道憲章にあるように、「武技による心身の鍛錬を通じて人格を磨き、識見を高め、有為の人物を育成すること」です。

日本空手協会は設立当初からこうした考え方に基づいて、皆様もご存じの五条訓を道場訓として掲げ、その実践に努めてきました。

一、 人格完成に努むること

- 一、 誠の道を守ること
- 一、 努力の精神を養うこと
- 一、 礼儀を重んずること
- 一、 血気の勇を戒むること

こうした理念や目的に基づく日本空手協会の空手道の特色は、日本武道の伝統や価値観に基づいた「武道空手」という点にあります。その本質は一本勝負です。この点において、ポイントを競い合うスポーツ空手とは異なる特徴を有しています。日常生活の中で素手で戦いあうということがなくなった現代において、私たちは、文明人の自己鍛錬・自己向上の手段として空手を修行しているのです。

会員の皆様も、年のはじめにこのことを改めて確認し、試合での勝ち負けだけが全てではなく、それ以上に精神面・道徳面での向上に努め、周囲から信頼され尊敬される人になることが重要だということをしかりと心に刻んでいただきたいと思います。そのうえで、折に触れて自分がそのような努力を十分に実践しているかどうか問い直してみるのも大切なことでしょう。

新渡戸稲造は名著『武士道』において、義、勇、仁、礼、誠、名誉、忠義などの徳目を挙げて武士の倫理道徳について説明しました。その根本は「名を惜しみ、恥を知る」ことにあります。こうした武士道精神は、武士の間だけでなく、広く日本人全体に受け入れられるようになっていきました。それが大和魂というものです。

もちろん今の世の中にはもう武士は存在しません。しかしそれでも新渡戸の言う武士道精神は、今日においても日本人の中に脈々と生き続けています。私たちはそれをオリンピックや世界選手権で活躍するトップアスリートの振る舞いの中に見ることができます。アスリートだけでなく、世界を舞台に活躍して尊敬を集めている優れた芸術家の中にも見ることができます。ノーベル賞に輝く研究者の中にも見ることができます。

そういう人たちに共通しているのは、志を高くもち、高い目標を目指して厳しく自分を律し、人一倍の努力と忍耐力によってさまざまな困難を克服してきたということです。そのようにして自分を高めていく世界がある限り、そこには武士道精神が存在すると言ってもいいのです。言い換えると、高尚な生き方には必ず厳しい倫理道徳が伴うということです。

私たちが空手道の修行をするのは、そのような人格高潔で人間としての魅力ある存在を目指して自分自身を高めていくためです。目指す目標に到達するのは容易ではなくても、少しでもそこに近づこうとして努力することに意味があるのです。したがって空手道にはこれで完成ということはありません。永遠に未完成です。だからこそ、生涯武道として実践する価値があるのです。今の自分に満足したらそこでおしまいです。もう一段上を目指して努力してみてください。

公益社団法人として認定を受けた今日、日本空手協会の目的は、定款にも明記されているように、第一に、空手道の研究と指導を通じて技量の向上と自己鍛錬の普及を図ること、第二に、国民の体位の向上と健全なスポーツ精神の涵養に寄与すること、第三に、礼節を重んじる日本武道の精神を国際的に広め世界平和に貢献することです。言い換えれば、徳育・知育・体育のすべてを通じて、品格のある青少年の育成に努めるということになります。

日本空手協会では、すべての会員が礼節を重んずる武道精神を発揮し、一致協力して共に稽古に励み、伝統の武道空手の真価を国内はもとより広く世界に普及して後世に伝えていくことを重要な役割と考えています。この重要な使命を果たすため、私たちは皆様と一緒に取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

新しい年が皆様にとって充実した、より良い年となるよう祈念いたします。

# 年頭挨拶



## 日本空手協会主席師範

### 植木政明（うえき・まさあき）

杉浦先生（第二代首席師範）に師事、亜細亜大学卒業後は第六期研修生として日本空手協会に入所、後に数々の大会で優秀な成績を収める。平成7年7月22日より専務理事を務め空手協会の発展に寄与された。平成22年5月29日より第三代首席師範に就任。



明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、皆様と共に飛躍する一年にしたいと思っています。

さて2020年オリンピック東京大会で新たに実施される「空手」に対し、メディアも関心を持っている状況です。オリンピックについては、団体・組織よりも国として勝利できるかが問題ですが、世界の強豪を相手に良い成績を残すことができるか、危惧を持つのは私だけでしょうか。日本の空手界が一丸となってあたる事が大切だと思います。

日本における空手の歴史は、大正11年3月東京で開催された文部省主催、第一回体育展覧会のために沖縄の富名腰義珍先生が上京した事に始まります。そして展覧会終了後も各界の要望により東京に残り公開演武、講演を続け、琉球唐手の普及に努めました。しかし昭和4年、先生は“空手は徒手空拳を以って身を護り敵を防ぐ術である”と共に精神的な発達も図らなければならないとして「空」と「道」の字を用いて「唐手」から「空手道」と改めました。以来現在まで広く用いられていますが、その高邁で、哲学的な意味を理解しながら修業しなければなりません。

日本空手協会は、戦後の荒廃した中から松濤館同門が結集し、富名腰義珍先生を最高師範として昭和24年に創立しました。日本空手協会が行った業績を挙げた場合、まず第一には、昭和31年研修生制度を発足させ、指導員を育成する基盤を作ったことです。この制度は、「基本」「組手」「形」三位一体を伝承し、次の世代の指導者を育成するものです。この制度は現在まで脈々と受け継がれており優秀な指導者を数多く輩出しております。又、その指導員をいち早く各国に派遣し、空手道を世界中に普及させることができました。

第二は、昭和33年、第一回全国空手道選手権大会を東京体育館で開催したことです。組

手及び形の試合を世界で初めて実施しました。この時より組手試合は「極」を重視する一本勝負を採用してきました。ポイント制が蔓延している現在でも、一本勝負を採用しているのは日本空手協会だけです。

第三は昭和36年第5回全国大会において、皇太子殿下（平成天皇陛下）のご臨席です。又、その大会にて中山正敏首席師範、杉浦初久二第二代首席師範、矢口豊師範が演武を行ったことは、空手界において、燦然と輝く出来事だと思います。

また、中山正敏初代首席師範は、指導方法確立のため空手道新教程を著し、空手道を体系づけられました。空手道が最初に普及した大学空手から一般の道場、少年空手に普及することとなりました。

第二代杉浦初久二首席師範は、日本空手協会師範会として形シリーズの編纂を行い、全国合宿を通じて、形の統一を実施しました。このことにより時代と共に形の解釈が変わることを未然に防ぐことが可能となりました。

日本空手協会は、70年に及ぶ歴史を踏まえ、常に最高を目指す組織でありたいと思っております。

日本空手協会は、平成12年に自前の総本部道場を現在の文京区に新設したことにより世界の指導者を一同に集め、技術の統一、昇段審査の実施、資格審査を総本部道場で行うことが出来るようになりました。

第三代首席師範として、これからの目標は、「強い空手協会」の空手道をいかに再構築するかです。中山首席師範、杉浦首席師範等は、高度な技術体系、指導体系を構築してきました。今後はいかにその体系を発展、継続させるかにあると思います。

私ごとながら選手としての試合経験をどのように技、極めに活かしていくかが課題です。私が研修生のころの試合は、大変個性的な選手が多かった様に思われます。現在、組手試合において極めのない技が多く、攻めもワンパターン化しており、画一化された試合が多く見受けられます。これらの現象は基本練習が疎かになったために、自然と技を出すことができないことから発生していると思います。

指導者講習会において、指導者の基本、その他を見直す必要性が感じられます。指導者も私を含め高齢化しております。その長い間の経験を大いに役立ててもらいたい。又、指導者自身も鍛えてもらいたい。

指導者は、「やらせる」「やってみせる」その繰り返しです。号令、かけ声だけでは技は磨けません。人は育ちません。さらに、今後如何にして後進の指導者を育成していくかも私たちに課せられた大きな課題であります。そのことから指導者講習会等を充実させていきたいと考えております。

そして、いま一度すべての指導者・会員が礼節を重んずる武道精神の原点に立ち返り、共に学び、共に鍛え、共に高め合っていきたいと考えております。

また、本年は8月にアイルランドにおいて船越義珍杯が開催されます。皆様の温かいご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

# 内閣総理大臣杯 第59回全国空手道選手権大会

2016年9月25日(日) 幕張メッセイベントホール

JKA 最大の一戦、『内閣総理大臣杯 第59回全国空手道選手権大会』。本年は6月に団体戦・高校生の部を、9月に一般個人戦を実施した。

歴史と伝統を誇る、JKA 最高の空手家を決める一般個人戦は、男子組手・根本敬介、女子組手・椎名舞、男子形・栗原秀元、女子形・中村綾乃が制した。内閣総理大臣杯は、根本と椎名に授与された。



**極限の緊張走る幕張。**

**絶対王者・根本敬介の強い空手。**

**椎名舞、本物示す連覇**

最強を決める男子組手。素手素面の一本勝負、選手たちの醸し出す気迫と緊張が、会場を包み込む。結果は、出場選手最多の4度の優勝を誇る根本敬介が、2連覇5度目の優勝を果たした。相手を圧倒する気力・迫力・集中力は別格。まさに一本勝負の醍醐味を見せてくれる。絶対王者の存在感を出してきた。

特に決勝戦は凄みを増した。若獅子・芳賀裕介との前年同様の両者による決勝戦、5分間三本勝負。大柄で根本よりも身体がふた周りも大きい芳賀が、根本の圧力に耐えきれない。序盤に芳賀が1つ場外に出て、それではいけまいと、意を決して思い切り出て技を出したが、それだけでは崩せない根本。返しの上段突きで技あり。さらに今度は根本がコートに角にじわじわと詰めると、力強い中段突きで技あり。合わせて一本。これが決め手となり、判定で根本が勝利。優勝を決めた。

女子組手優勝の椎名舞は、2連覇3度目の優勝。決勝は青山学院大学の井田渚に、中段突き、上段突きを極め、合わせ一本で勝利した。椎名は2011年の初優勝以降、13、14年と惜しくも決勝で敗れている。2015年の優勝後、自身初の連覇を果たした今回。真の強さを証明した。

**内閣総理大臣杯**

**第59回全国空手道選手権大会**

**【一般個人戦】男子組手**

**【優勝】根本敬介(指定)【準優勝】芳賀裕介(指定)【3位】上田大介(指定)岡田泰典(関東地区)**

**【一般個人戦】女子組手**

**【優勝】椎名舞(指定)【指定】【準優勝】井田渚(新潟県)【3位】椎名優(千葉県)美濃部彩加(東京都)**

 **内閣総理大臣杯 第59回全国空手道選手権大会**  
2016年9月25日(日) 幕張メッセイベントホール



男子形優勝の栗原秀元



女子形優勝の中村綾乃

**偉大な兄越え。栗原秀元、初優勝！**  
**高木でも優勝、中村でも優勝！**

歴史的な瞬間が起きた男子形。前年まで7連覇中、今回8連覇10回目の優勝と言う快挙を狙う栗原一晃を破る男が現れた。栗原の弟・秀元だ。順位決定戦、栗原一晃が十八番とも言える力強いソーチンで42.6点をたたき出した直後の演武となった秀元。五十四歩小を演武し、キレとスピードを前面に押し出した。なめらかな運足、轉身が見事。『42.9』という得点が発表されると、会場が大きくどよめいた。前回、前々回と2位の秀元が遂に兄越え。初優勝を飾った。

女子形では、中村綾乃が連覇を達成。前年に入籍し、高木から中村に姓が変わっての連覇になる。この日の帯は高木、道衣は中村の刺繍が入っていた。順位決定戦では五十四歩大を演武。技のキレ、緩急を巧みに操り、深みある形を見せて42.2点を獲得した。2位の松原美咲に0.6点もの差をつけて優勝を果たした。

**内閣総理大臣杯**  
**第59回全国空手道選手権大会**  
【一般個人戦】男子形  
【優勝】栗原秀元(指定)(指定)【準優勝】栗原一晃(指定)【3位】上田大介(指定)  
【一般個人戦】女子形  
【優勝】中村綾乃(指定)(指定)【準優勝】松原美咲(近畿地区)【3位】ローシン・キャンベル(指定)

# 内閣総理大臣杯 第59回全国空手道選手権大会 【団体戦・高校生】

日時：2016年6月25日 会場：6月25日：東京体育館



## 文部科学大臣杯受賞者

- 文部科学大臣杯 東京都本部（都道府県対抗戦優勝）
- 文部科学大臣杯 駒沢大学（大学団体戦総合優勝）
- 文部科学大臣杯 光明学園（高校生団体戦優勝）
- 文部科学大臣杯 佐野直輝（高校生男子個人戦優勝）
- 文部科学大臣杯 原田麻友香（高校生女子個人戦優勝）



## チームの誇りを懸けた戦い。

文部科学大臣杯をかけた団体戦、高校生の部。注目の都道府県対抗戦団体組手では、東京都本部が優勝を果たした。決勝は、前年優勝の群馬県本部と対戦。3-1で勝利し、3年ぶりの王座を掴んだ。

また団体戦では駒沢大学勢が活躍。大学団体戦を形・組手ともに優勝し大学団体戦総合優勝の文部科学大臣杯を獲得した。駒沢大学は団体戦形の部女子でも優勝し、3種目を制覇した。

高校生団体戦組手では、光明学園が優勝。決勝では石川県本部を下した。同男子個人組手では、世田谷学園高校に通う佐野直輝が嬉しい初優勝。女子では原田麻友香が、決勝で高田空を下して初優勝を果たした。光明学園、佐野、原田は文部科学大臣杯を獲得した。

## 内閣総理大臣杯

### 第59回全国空手道選手権大会

#### 【個人戦：組手の部】

高校生男子：【優勝】佐野直輝（東京都）【準優勝】雪嶋圭斗（静岡県）【3位】大井麗斗（大阪府）関口徹昭（東京都）  
高校生女子：【優勝】原田麻友香（福岡県）【準優勝】高田空（大阪府）【3位】安井真生（神奈川県）石合郁香（神奈川県）

#### 【個人戦：形の部】

高校生男子：【優勝】柏湧斗（茨城県）【準優勝】岡本健太（岡山県）【3位】水岡勇也（京都府）  
高校生女子：【優勝】秋山真子（新潟県）【準優勝】秦乃英瑠（東京都）【3位】籾本光咲（石川県）

#### 【団体戦：組手の部】

高校生：【優勝】光明学園【準優勝】石川県本部【3位】三重県本部 大学：【優勝】駒沢大学（直轄団体）【準優勝】関東学院大学（直轄団体）【3位】青山学院大学（直轄団体）  
女子：【優勝】青山学院大学（直轄団体）【準優勝】駒沢大学（直轄団体）【3位】静岡県 一般：【優勝】雷空会【準優勝】行田支部【3位】千間台支部 都道府県：【優勝】東京都本部【準優勝】群馬県本部【3位】静岡県本部

#### 【団体戦：形の部】

高校生：【優勝】水城高等学校（茨城県）【準優勝】三重県本部【3位】浜松開誠館（静岡県） 大学：【優勝】駒沢大学（直轄団体）【準優勝】青山学院大学（直轄団体）【3位】関東学院大学（直轄団体）  
女子：【優勝】駒沢大学（直轄団体）【準優勝】青山学院大学（直轄団体）【3位】神奈川県本部 一般：【優勝】箕輪支部（群馬県）【準優勝】高田支部A（新潟県）【3位】高田支部B（新潟県） 都道府県：【優勝】茨城県本部【準優勝】三重県本部【3位】群馬県本部

# 文部科学大臣杯 第59回小学生・中学生全国空手道選手権大会

2016年7月30日(土)、31日(日)会場：盛岡タカヤアリーナ (岩手県盛岡市)

小学生、中学生の日本一を決める『文部科学大臣杯 第59回小学生・中学生全国空手道選手権大会』。JKA最大規模の大会で、今年も2日間にわたって40種目もの多くの試合が展開された。



スーパーキッズ高野万優選手は小学4年生形の部で優勝

## 第59回小学生・中学生全国空手道選手権大会 文部科学大臣杯 団体戦

小学生低学年 男子の部 総合優勝 諸口支部 (大阪府)  
小学生低学年 女子の部 総合優勝 埼玉県本部 (埼玉県)  
中学生 男子の部 総合優勝 石巻支部 (宮城県)  
中学生 女子の部 総合優勝 高崎支部 (群馬県)

個人戦  
小学6年生 男子の部 総合優勝 高橋 晴心 (千葉県)  
小学6年生 女子の部 総合優勝 酒井 ひな (新潟県)  
中学3年生 男子の部 総合優勝 米良 裕一朗 (栃木県)  
中学3年生 女子の部 総合優勝 大丸 美津妃 (大阪府)



文部科学大臣杯獲得の米良裕一朗選手



志水亮介先生、大金勇太郎先生による演武

## 参加3,000名超、JKA最大規模

小学3年生から中学3年生までが参加する小学生全国大会。個人戦、団体戦含め、全国から集まった参加者はおよそ3,000名。開会式に全参加選手が整列した俯瞰の様子は、大会の規模の大きさを象徴する。

毎年学校の夏休みに開催され、長野、三重、宮城、静岡、そして今回の岩手での開催と、全国各地を開催地としている本大会。子どもたちやそのご家族にとっては遠征となり、夏の思い出づくりにもなっている。

大会期間中には、総本部指導員による特別演武が行なわれ、その演武はすぐ傍で見ることができる。総本部指導員の演武をこれほどまでに近くで見るとは貴重な機会である。

## スーパーキッズ高野万優選手が登場!

形演武のようすが動画サイト youtube で400万回以上再生され、日本はおろか世界中で「スーパー空手少女」として人気を誇る高野万優選手が出場。本大会でも素晴らしい形を見せた。小学4年生女子個人形の部に出場した高野選手は、コートに立つだけで小学生離れした雰囲気を出し出す。形の技の錬度も、十分に錬られた技の数々。噂に違わぬ演武を見せ、見事優勝を果たした。

## 4選手、4団体に文部科学大臣杯授与

本大会、団体では小学生低学年男女と中学生男女の計4チーム、個人では小学6年生の男女と中学3年生の男女の計4名に贈られる。今回、中学3年生男子の部で総合優勝した栃木県の米良裕一朗選手は、組手で優勝、形で3位という両種目での大車輪の活躍。県勢初の文部科学大臣杯獲得という快挙を見せた。米良選手は宇都宮支部の所属、父親の寿一さんが支部長を務め、お姉さん達も全国大会入賞経験がある空手一家。今後ますますの成長が楽しみだ。

《小学低学年女子団体形》  
【優勝】千間台支部 (埼玉) 【準優勝】新潟県本部 (新潟) [3位] 埼玉県本部 (埼玉) 《小学高学年女子団体形》  
【優勝】新潟県本部 (新潟) 【準優勝】山形県本部 (山形) [3位] 上尾支部 (埼玉) 《中学年女子団体形》  
【優勝】長野篠ノ井支部 (長野) 【準優勝】埼玉県本部 (埼玉) [3位] 北方支部 (岐阜) 《小学低学年男子団体形》【優勝】埼玉県本部 (埼玉) 【準優勝】御殿場西支部 (静岡) [3位] 福岡県本部 (福岡) 《小学高学年男子団体形》【優勝】君津支部 (千葉) 【準優勝】駿河支部 (静岡) [3位] 埼玉県本部 (埼玉) 《中学生男子団体形》  
【優勝】清心館本部 (千葉) 【準優勝】浜松開誠館 (静岡) [3位] 埼玉県本部 (埼玉) 《中学1年生女子形》【優勝】酒井虹穂 【準優勝】山田悠月 [3位] 鈴木遥名・佐藤夏鈴 【敢闘賞】 鳥山望愛・坂田楓実・北原柚香・池田瑚遥 《中学2年生女子形》【優勝】志村珠妃 【準優勝】畑中彩留葉 [3位] 植松恵美・林美伶 【敢闘賞】 星野美月・佐藤美乃梨・増田有紀・丸子真央 《中学3年生女子形》【優勝】大野桃佳 【準優勝】岩田彩葉 [3位] 佐藤日都・松岡加弥乃 【敢闘賞】 倉井凜・富田琴絵・田中華梨・細風沙 《小学3年生女子形》【優勝】斎藤あかり 【準優勝】川口柚子 [3位] 祖堅優月・織戸星 【敢闘賞】 生田珠珠・吉田杏奈・畑中恵理奈・中嶋心春 《小学4年生女子形》【優勝】高野万優 【準優勝】松本恋奈 [3位] 関井初夏・小杉咲楽 【敢闘賞】 小川涼音・山崎璃莉愛・一之瀬礼奈・大石蘭 《小学5年生女子形》【優勝】工藤千聖 【準優勝】山岸瑠里 [3位] 長谷川実依・高階凜花 【敢闘賞】 高橋かなえ・久保夏芽・栗原未羽・丸山ルツ記 《小学6年生女子形》【優勝】福瑞岬 【準優勝】沢幡茉歩 [3位] 澤谷光里・関澤愛莉 【敢闘賞】 木内深結・佐藤あすさ・田中育・吉田綺羅 《中学1年生男子形》【優勝】古賀大聖 【準優勝】弓削諒兵 [3位] 龍見曉周・鈴木大悟 【敢闘賞】 工藤駿希・山辺雄翔・安藤大樹・福島拓夢 《中学2年生男子形》【優勝】小泉瑠寧 【準優勝】橋本成矢 [3位] 渡部魁心・北澤夏周 【敢闘賞】 滝川翔・佐藤琉・安達恵哉・水上和哉 《中学3年生男子形》【優勝】高橋翔輝 【準優勝】鈴木勇憂 [3位] 米良裕一朗・秦隆輔 【敢闘賞】 畑大晴・太田真暉・沢幡勇吏・川島慶士 《小学3年生男子形》【優勝】藤村康平 【準優勝】山本勘太 [3位] 龍見俊暉・中村洗晟 【敢闘賞】 池田真芭・肥田風雅・石井鈴矢。鳥ノ江亜琉 《小学4年生男子形》【優勝】今勇絆 【準優勝】西塚悠真 [3位] 名塚響・日向連 【敢闘賞】 島津日向・若永悠聖・安藤楓帆・芹沢奏音 《小学5年生男子形》【優勝】小西剛聖 【準優勝】佐藤智哉 [3位] 齋藤琉之介・山田聖人 【敢闘賞】 小野広翔・堀水蒼太・末次弘和・田室光我 《小学6年生男子形》【優勝】高橋晴心 【準優勝】加藤大誠 [3位] 内藤星那・畑中将真 【敢闘賞】 八島瑞希・犬飼悠貴・小松幸己・松本淳平 《小学低学年女子団体組手》【優勝】埼玉県本部 (埼玉) 【準優勝】青森県本部 (青森) [3位] 三多摩 (東京) 《小学高学年女子団体組手》【優勝】東京都本部 (東京) 【準優勝】石巻中央支部 (宮城) [3位] 佐久支部 (長野) 《中学生女子団体組手》【優勝】高崎支部 (群馬) 【準優勝】新潟県本部 (新潟) [3位] 埼玉県本部 (埼玉) 《小学低学年男子団体組手》【優勝】諸口支部 (大阪) 【準優勝】浜北支部 (静岡) [3位] 太田支部 (群馬) 《小学高学年男子団体組手》【優勝】石巻桃生支部 (宮城) 【準優勝】埼玉県本部 (埼玉) [3位] 山形県本部 (山形) 《中学生男子団体組手》【優勝】石巻支部 (宮城) 【準優勝】福岡県本部 (福岡) [3位] 浜松開誠館 (静岡) 《中学1年生女子組手》【優勝】新谷心 【準優勝】井伊真彩 [3位] 坂田楓実・松本星来 【敢闘賞】 佐藤麗・酒井虹穂・中嶋愛唯・児玉真依 《中学2年生女子組手》【優勝】斎藤小茉莉 【準優勝】西本紗和音 [3位] 平野早紀・伊藤春野 【敢闘賞】 藤澤結峰・近藤紗弥・岡村風香・中村心暖 《中学3年生女子組手》【優勝】大丸美津妃 【準優勝】三須れもん [3位] 山口めぐみ・藤田日菜 【敢闘賞】 森山詩音・畑岸杏奈・三上美純・坂田月姫 《小学3年生女子組手》【優勝】西片亜衣 【準優勝】前田望々香 [3位] 出水雅珠 【敢闘賞】 甲田陽由・成本幸由・川手芽衣・斎藤あかり・岡井歩 《小学4年生女子組手》【優勝】葛原麻莉 【準優勝】小野寺美唯菜 [3位] 大滝真絢・佐伯亜美 【敢闘賞】 岡本純奈・中山瑠菜・宇都日奈子・金子麗 《小学5年生女子組手》【優勝】高橋さくら 【準優勝】前田望結 [3位] 池田愛音・鈴木椋琳 【敢闘賞】 瀧澤菜・佐々木瑞美・船水明莉・堀江明花 《小学6年生女子組手》【優勝】酒井ひな 【準優勝】横坂おもと [3位] 江崎彩葉・斎藤綺理 【敢闘賞】 北川日奈子・福田歩生・樋口美優・澤谷光里 《中学1年生男子組手》【優勝】末武優征 【準優勝】小栗昇真 [3位] 高橋銀・佐藤愛斗 【敢闘賞】 秋山麗世・熊谷成将・伊藤潤哉・阿部海星 《中学2年生男子組手》【優勝】福田時希 【準優勝】相馬空 [3位] 行場諒・相澤烈夏 【敢闘賞】 佐藤佑真・星達貴・森城・梅田拓実 《中学3年生男子組手》【優勝】米良裕一朗 【準優勝】武山特雅 [3位] 佐藤宏揮・亭嶋飛龍 【敢闘賞】 松崎大将・佐々木聡真・太田龍士郎・伊藤有都 《小学3年生男子組手》【優勝】庄司大和 【準優勝】谷岡永惟 [3位] 山内圭祐・石井鈴矢 【敢闘賞】 小山寛陸・細川大翔・中村洗晟・相川幸絆 《小学4年生男子組手》【優勝】島津日向 【準優勝】武山侑輝 [3位] 佐々木麗心・加藤楓華 【敢闘賞】 川村将・川鍋悠斗・清水和玖・濱本翔斗 《小学5年生男子組手》【優勝】池田剛基 【準優勝】栗田侑 [3位] 平塚星羽・辻大夢 【敢闘賞】 高野琉斗・加藤拓・吉田脩馬・菅原日雅 《小学6年生男子組手》【優勝】市場康太 【準優勝】五十嵐陽生 [3位] 平石口純也・高橋晴心 【敢闘賞】 朝倉一輝・松本旺太・氏川賢哉・田口翔悟

# 第16回熟練者全国空手道選手権大会

2016年11月5日(土) 会場：文京スポーツセンター 写真：KURO-OBI WORLD

女子35歳、男子40歳以上が参加する「熟練者全国空手道選手権大会」。男子では70歳以上の部門まであり、生涯空手を貫く会員の方々の、大きな目標となる大会になっている。5歳ごとの世代に分かれ、今回は男女形、組手と都道府県対抗戦の計30種目が行なわれた。



男子50歳組手の部準優勝の加福明浩(青森県)選手



女子40歳形の部優勝の稲樹理選手

女子60歳形の部 優勝の安中勝子選手

## 坂野友梨子組手、形ともに制覇

今大会、形と組手の両方を制したのは、女子35歳の坂野友梨子選手ただ一人。組手は3連覇の坂野選手、今年は形も躍進し、嬉しいW優勝となった。毎年上位に食い込む熟練者大会の顔となっているメンバーの中では、女子45歳の安藤陽子選手が、組手優勝で形2位、男子45歳の嶽野英樹選手が形優勝で組手2位、男子60歳の横須賀秀夫選手が形2位で組手優勝と、あと一歩でW優勝ならずも大健闘した。

男子最高齢の部である70歳以上の部では、千葉県谷川幸男選手が活躍。形で優勝すると、組手でも決勝に進出。惜しくも津谷順三選手に敗れて2位だったが、形と組手ともに長年の鍛錬の形を見せてくれた。

熟練者大会の花形種目、都道府県対抗戦。今大会は女子は静岡県が優勝、男子は千葉県が優勝した。千葉県男子は個人戦でも4種目で優勝、都道府県本部の結束力が強く、今回も好成績を記録した。

最高齢表彰は、今年は男子は熊谷正三選手(80歳)、女子は四宮弥生選手(72歳)が受賞。参加者から大きな拍手を浴びていた。



男子60歳の部で上段蹴りを決める小山孝一(千葉県)選手

## 第15回熟練者全国空手道選手権大会結果

《形》  
 女子35歳：【優勝】坂野友梨子(石川県)【準優勝】緒方早絵(静岡県)【3位】滝川ひろ美(愛知県)  
 女子40歳：【優勝】稲樹理(静岡県)【準優勝】小林ノリコ(神奈川県)【3位】小池泉(広島県)  
 女子45歳：【優勝】浦野ゆかり(兵庫県)【準優勝】安藤陽子(埼玉県)【3位】岡崎ゆかり(兵庫県)  
 女子50歳：【優勝】西田美由紀(滋賀県)【準優勝】杉山由美(石川県)【3位】高谷里美(岐阜県)  
 女子55歳：【優勝】塚田千雪(埼玉県)【準優勝】村津真理子(兵庫県)【3位】堀礼子(岐阜県)  
 女子60歳以上：【優勝】安中勝子(埼玉県)【準優勝】江口まり子(直轄)【3位】福永信子(直轄)  
 男子40歳：【優勝】川口真吾(埼玉県)【準優勝】内山彰博(富山県)【3位】大石勝美(千葉県)  
 男子45歳：【優勝】嶽野英樹(長野県)【準優勝】平島輝久(東京都)【3位】秋廣哲次(長野県)  
 男子50歳：【優勝】大野広光(福島県)【準優勝】木村吉典(愛媛県)【3位】佐竹敏彦(埼玉県)男子55歳：【優勝】眞下宗司(群馬県)【準優勝】西村浩行(三重県)【3位】森金竹司(石川県)男子60歳：【優勝】小山孝一(千葉県)【準優勝】横須賀秀夫(千葉県)【3位】高橋保行(群馬県)男子65歳：【優勝】原元一(東京都)【準優勝】松本哲洋(島根県)【3位】岩田純明(栃木県)男子70歳以上：【優勝】谷川幸男(千葉県)【準優勝】長久保雅生(神奈川県)【3位】細田晴夫(埼玉県)  
 《組手》  
 女子35歳：【優勝】坂野友梨子(石川県)【準優勝】

川本愛里(千葉県)【3位】中楚夕香里(兵庫県)緒方早絵(静岡県)女子40歳：【優勝】永野由香(千葉県)【準優勝】川路飛鳥(千葉県)【3位】京極史華(愛知県)大野桃子(埼玉県)女子45歳：【優勝】安藤陽子(埼玉県)【準優勝】白水要子(福岡県)山藤理恵子(千葉県)宮本洋子(静岡県)女子50歳：【優勝】安保祥子(神奈川県)【準優勝】香取彩夏(神奈川県)【3位】西田美由紀(滋賀県)高野康子(東京都)女子55歳：【優勝】古川和代(東京都)【準優勝】堀礼子(岐阜県)【3位】村津真理子(兵庫県)塚田千雪(埼玉県)女子60歳以上：【優勝】高田正子(埼玉県)【準優勝】中島明美(熊本県)【3位】安中勝子(埼玉県)小澤節子(埼玉県)男子40歳：【優勝】田中知宏(埼玉県)【準優勝】瀬戸秀朗(神奈川県)【3位】工藤修平(東京都)岩月彰(直轄)男子45歳：【優勝】藤井康弘(青森県)【準優勝】嶽野英樹(長野県)【3位】三上寛之(埼玉県)小嶋健(埼玉県)男子50歳：【優勝】内山富夫(三重県)【準優勝】加福明浩(青森県)【3位】鈴木隆(千葉県)白井剛(直轄)男子55歳：【優勝】相原力(東京都)【準優勝】笹沼充夫(栃木県)【3位】山本哲夫(東京都)大日向剛(東京都)男子60歳：【優勝】横須賀秀生(千葉県)【準優勝】古宮浩二(千葉県)【3位】小山孝一(千葉県)高橋保行(群馬県)男子65歳：【優勝】大谷章助(千葉県)【準優勝】岩田純明(栃木県)【3位】濱勝二(神奈川県)鶴川吉和(東京都)男子70歳以上：【優勝】津谷順三(茨城県)【準優勝】谷川幸男(千葉県)【3位】高橋和夫(直轄)岸根長司(大阪府)

# 平成 28 年秋季国内外全国合同合宿

2016 年 10 月 13 日 (土) - 16 日 (日) 会場：総本部道場

平成 28 年 10 月 13 日 (木) から 16 日 (日) にかけて、日本空手協会総本部道場において秋季国内外全国合同合宿が開催された。日本空手協会会員以外の他流派の方々にも参加が解放された今回の合宿には、他流派 3 名を含め、330 人以上が参加した。



## 330 人以上が国内外から参加

春と秋の年間 2 回、総本部道場にて行われる国内外全国合同合宿。総本部道場を会場にし、総本部指導員が総出で指導にあたる。4 日間もの長い期間で行なわれる、JKA 最大の技術講習会である。

今回は、日本空手協会の会員以外の方々にも参加可能にし、より深い技術交流を目指した。他流派の方々への参加もあり、延べ 330 人以上の参加があった。

講習会では、植木政明首席師範を中心に総本部師範より懇切丁寧な指導がなされた。時には総本部の師範が実際に動いて技を見せて指導をする場面もあり、参加者はその動きを真剣な眼差しで見つめ、受講していた。

また、JKA 総本部から参加者へのおもてなし、そして JKA ファミリーの輪を広げる目的で 2 度の懇親会を開催した。初日の 13 日の講習会終了後には海外代表者を対象にした懇親会、15 日 (土)

には講習会参加者とのパーティーが開催された。懇親会の時間は、講習会の時の真剣な表情とは打って変わったなごやかな雰囲気、参加者も総本部指導員も笑顔が絶えないあたたかい時間だった。

2017 年の春季合宿は、4 月 13 日 (木) ~ 16 日 (日) の開催が予定されている。多数の参加を期待したい。



# 2016 年海外指導状況 (10 月 ~ 12 月)



10/01 ~ 10/06	中指導員	ドイツ
10/06 ~ 10/11	小林指導員	スペイン
10/19 ~ 10/27	大坂指導員	スペイン
10/19 ~ 10/27	根本指導員	スペイン
10/20 ~ 10/25	今村指導員	スコットランド
10/20 ~ 10/25	志水指導員	スコットランド
10/24 ~ 11/01	蔵迫指導員	オーストラリア
10/24 ~ 11/01	森指導員	オーストラリア
10/25 ~ 11/01	上田指導員	フランス
10/26 ~ 10/31	植木首席師範	オーストラリア
10/31 ~ 11/06	川和田指導員	ポルトガル
10/31 ~ 11/06	権名(舞)指導員	ポルトガル
10/31 ~ 11/07	大坂指導員	アメリカ
11/01 ~ 11/07	大隈指導員	アラブ首長国連邦
11/07 ~ 11/16	大隈指導員	クウェート
11/11 ~ 11/16	小林指導員	イタリア
11/16 ~ 11/22	川和田指導員	オランダ
11/16 ~ 11/22	栗原指導員	オランダ
11/16 ~ 11/23	井村指導員	ドイツ
11/16 ~ 11/23	中指導員	アイルランド
11/16 ~ 11/23	大隈指導員	アイルランド
11/17 ~ 11/29	志水指導員	カナダ
11/22 ~ 11/28	谷山指導員	ノルウェー
11/22 ~ 11/28	根本指導員	ノルウェー
11/23 ~ 11/28	今村指導員	オーストラリア
11/29 ~ 12/05	小林指導員	コロンビア
12/01 ~ 12/09	中指導員	フランス
12/01 ~ 12/09	志水指導員	フランス
12/06 ~ 12/22	小林指導員	チリ
12/06 ~ 12/13	中指導員	ギリシャ
12/06 ~ 12/13	大隈指導員	ギリシャ
12/06 ~ 12/12	権名(舞)指導員	ノルウェー
12/09 ~ 12/12	植木首席師範	タイ
12/09 ~ 12/12	今村指導員	タイ
12/16 ~ 12/19	権名指導員	台湾
12/20 ~ 12/25	権名指導員	バングラデシュ
12/25 ~ 12/29	権名指導員	インド

## TOPIC

### 中指導員、巖流島で演武

2017 年 1 月 3 日、舞浜で行われた格闘技イベント「巖流島」にて協会指導員が演武した。演武が行われたのは、メインイベント直前の 10 分間。日本空手協会からは中指導員と大金指導員が派遣され、日本空手協会の説明、立ち捕りによる演武が行われた。中指導員は「格闘技ファンに武道としての空手道を演武紹介できた素晴らしい機会であった。」と語った。(写真：Kuro-obi world)





# 2017年海外指導予定 (1月～3月)



井村指導員	ニュージーランド	3月6日～12日
川和田指導員	インド	1月22日～28日
小倉指導員	エジプト	1月23日～30日
椎名指導員	パキスタン	2月13日～25日
中指導員	タイ	1月19日～26日
	オマーン	2月5日～9日
	ポルトガル	3月5日～13日
	オーストラリア	3月16日～22日
谷山指導員	ミャンマー	1月11日～26日
小林指導員	フランス	1月4日～8日
	マイアミ	1月24日～30日
平山指導員	フランス	2月27日～3月6日
大隈指導員	エジプト	1月23日～30日
	オーストラリア	3月16日～22日
根本指導員	インド	1月22日～28日
志水指導員	インドネシア	3月4日～10日
栗原指導員	スロベニア	1月26日～31日
上田指導員	インド	1月9日～12日

## TOPIC

### 鏡開きで2017年幸先よくスタート

2017年1月15日(日)12時より、総本部道場にて鏡開きが行われた。

まず、最初に植木首席師範の指導により、その場基本・移動基本・基本組手がとり行われた。短い時間ではあったが、全員でたくさん汗をかき2017年の稽古始めがとても良いスタートとなった。

稽古が終わり、続いて指導員による演武である。初めに椎名舞指導員による形の演武が行われた。形は「明鏡」鏡開きにふさわしい形であった。次に、椎名舞指導員・大金勇太郎指導員による基本組手の演武が行われた。平安形をベースとした基本組手であった。最後は根本敬介指導員・大金勇太郎指導員による立捕りの演武である。実際に起こりうる状況からの護身術など様々なパターンで行われた。

稽古後には、草原会長・植木首席師範より新年の挨拶がなされた。つづいて鏡割りの後、小倉専務理事による乾杯が行われた。お酒をいただき、大いに盛り上がった後、最後に井村指導員による逆突き一本で締めた。年初め、最初の行事である鏡開きは大成功であった。



# 2017行事予定

- 01 6日(金曜日) 稽古・仕事始め: 総本部道場  
15日(日曜日) 鏡開き: 総本部道場  
23日(月曜日)～29日(日曜日) 寒稽古: 総本部道場  
28日(土曜日) 研修生入所試験: 総本部道場
- 02 4日(土曜日) 第4回女子講習会  
17日(金曜日) 研修生入所試験: 総本部道場  
18日(土曜日) 師範会: 総本部道場  
26日(日曜日) 定期昇級・昇段審査会: 総本部道場
- 03 4日(土曜日) 定期理事会: 総本部会議室  
19日(日曜日)・20日(月曜日) 小・中学生合宿: 総本部道場  
25日(土曜日)・26日(日曜日) 小・中学生合宿: 総本部道場
- 04 3日(月曜日) 研修生入所式: 総本部道場  
13日(木曜日)～16日(日曜日) 春季国内外全国合宿: 総本部道場  
16日(日曜日) 国際理事会: 総本部会議室  
29日(土曜日) 船越義珍最高師範慰霊祭: 円覚寺
- 05 2日(火曜日) 日本空手協会創立記念日  
20日(土曜日) 定期理事会: 総本部会議室  
27日(土曜日) **第60回全国空手道選手権大会【団体戦】: 東京体育館**  
28日(日曜日) 定期昇級・昇段審査会: 総本部道場
- 06 4日(日曜日) 関東学生会定期リーグ戦(予定)
- 07 17日(土曜日) 社員総会: 総本部会議室
- 08 5日(土曜日)・6日(日曜日)  
**第60回小学生・中学生全国空手道選手権大会: 高崎アリーナ(群馬県)**  
14日(月曜日)～20日(日曜日) 夏期休暇  
18日(金曜日)～20日(日曜日)  
**船越義珍杯第14回世界空手道選手権大会: アイルランド**  
27日(日曜日) 定期昇級・昇段審査会: 総本部道場
- 09 9日(土曜日) 師範会: 総本部道場  
17日(日曜日) **第60回全国空手道選手権大会【個人戦】: 幕張メッセ**
- 10 12日(木曜日)～15日(日曜日) 秋季国内外全国合宿: 総本部道場  
29日(日曜日) 関東学生会定期リーグ戦(予定)
- 11 25日(土曜日) 第17回熟練者全国空手道選手権大会: 葛飾区水元総合スポーツセンター  
26日(日曜日) 定期昇級・昇段審査会: 総本部道場
- 12 1日(金曜日) 研修生入所試験: 総本部道場  
22日(金曜日) 総本部道場稽古納め: 総本部道場  
23日(土曜日)～1月4日(木曜日): 冬期休暇

